広島女学院同窓会
東京支部ニュース
編集・発行　東京支部役員会
2013. 11. 01
第 62 号

今年度の聖句

神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。　　コリントの信徒への手紙（一）10 章 13 節（改）

子育て支援への使命

ゲーンス幼稚園 園長　高田憲治

現在、幼稚園がある広島女学院牛田キャンパスは、広島市の中心部からさほど離れていない場所でありながら、国有林に囲まれているので乱開発されることなく、原生林に近い森が残っています。その森に抱かれるように幼稚園の園庭があります。1962 年度の再開園以来大学正門の近くにあった幼稚園が、1994 年春に大学グラウンド南側の現在の地に移転し、20 年の月日が流れました。その間に、園庭も周囲の豊かな自然とつながり合い、小さなせせらぎが生まれ、草木が育ち、季節ごとに果樹が実り、いろんな生き物たちが棲みついています。また、園に隣接する牛田キャンパスの森を“ぼうけんのもり”と名付け、幼児の遊び場として活用させていただいております。神様の与えてくださったこの贈り物の中で、里山のような幼稚園の環境づくりに取り組んでおります。

私たち教職員だけでは成し得られない、こうした環境づくりの取り組みを支えてくださっているのは、地域の大工さんや農業や染物や生態学のそれぞれの専門家の方々であり、一緒に環境整備に汗をかいてくださる保護者の皆さまです。さらには、広島女学院同窓会の皆さまにも多大なるご支援をいただいております。広島女学院維持会を通して尊い捧げものをいただき、その一部を用いて“ぼうけんのもり”にツリーハウスやウッドデッキを造ったり、森の道を整備したり、園庭に石窯を造ったり…幼児だけでなく家庭や卒園生も一緒に楽しんで交流できる場、自然体験学習の環境が整ってまいりました。この与えられた豊かな環境に感謝しつつ、これからは地域にお返しをすることができればと考えております。

子ども・子育ての新制度がスタートします。確かに、都市化・核家族化の中で家庭や地域の教育力は低下してきています。そのことを嘆いたり、また過去に回帰することを求めても何も始まりません。地域に開かれた幼稚園が家庭や地域と共に教育力を再生するという使命をもって、広島女学院の幼稚園も子育て支援活動に携わっていきたいと願っています。今から 120 年ほど前に、無料幼稚園を開設し、滋養の足りない幼児の家庭を訪ねて豆乳を作って飲ませておられたゲーンス先生が今の時代にいらっしゃれば、きっとそのようになさるでしょう。そのことも大きな原動力です。これからもどうぞ、広島女学院を、ゲーンス幼稚園を覚えてお支えくださいますように！

飛躍する女学院大学（その３）

“*Glorious Future*”

広島女学院大学 学長　長尾ひろみ
（井田／高 20、文英 2）

2013 年は国際教養学部と人間生活学部の２学部編成にして２年目になります。夏休みも終わり学生たちがキャンパスに戻ってきました。10 月にはハロウイン、大学祭（あやめ祭）、11 月はゲーンス杯スピーチコンテスト､マンドリン部演奏会、12 月にはクリスマス、メサイアなどを控え、それぞれのクラブ、サークル、ボランティアセンターなど、キャンパスのあらゆるところで学生たちが活発に準備をしている姿は微笑ましいものがあります。

4 年生は就職活動の終盤。昨年は管理栄養学科、幼児教育心理学科は就職率ほぼ 100%で、優秀な学生を社会に輩出しています。他の学部も 95%を超える就職率です。今年もみんな頑張ってくれることと思います。

今年の夏も、広島女学院大学のキャンパスでは平和を願うプログラムが複数行われ、忙しい毎日でした。第三回目の Peace and Leadership Seminar in Hiroshima は、パキスタン、アフガニスタン、バングラディシュ、フィリピン、ロシア、ヨルダン、カンボジア、ロシア、アメリカなど 17 カ国からの参加者が集まりました。

今年も東京の公益法人ウエスレー財団が海外からくる学生たちの参加費の奨学金（フルスカラシップ）を提供してくれたことで可能となりました。

関西学院大学との大学連携講座の特別講義「ヒロシマ」も、関西学院からの学生と広島女学院の学生合わせて 30 名近くが共同科目を登録するものです。宗教部主催の第 14 回キリスト教主義大学ジョイント８．６平和プログラムにも、松山東雲、神戸女学院、活水、四国学院などのキリスト教主義の学生が集まります。

また、国際教養学部の多くの学生がフィールドワークで海外に出かけました。Peace and Leadership Seminar の後、Global Studies in English (GSE)の学生は他国の参加者と共に 3 グループに分かれフィリピン、カンボジア、タイを訪れました。貧困と内戦の歴史、貧富の差を垣間見ることで、自分たちの立ち位置を確認したフィールドワークでした。（写真：タイにて）

それ以外にも、文部科学省の短期留学補助金（6～8 万円）を受け、海外に出ていきました。それぞれのメジャーが提供するフィールドワークであり、担当教員の引率で、インド（ｱｼﾞｱ･ｱﾌﾘｶﾒｼﾞｬｰ）、イタリア（都市文化ﾒｼﾞｬｰ）、シカゴの日本企業ビジネスインターンシップ（ﾋﾞｼﾞﾈｽﾒｼﾞｬｰ）、海外英語研修（英米文化ﾒｼﾞｬｰ）、などの現場での体験をしてきました。インドでは現地の大学との交流や森林調査を行いました。辛いものが食べられない学生にとってはちょっと苦しい旅だったようです。（写真：インドにて）

イタリアでは、美術館はもとより、スローフードの発祥の地でもあるので、料理学校での講習、またバイオリンのマイスター石井高さんをクレモナに訪ねてきました。ローマではコロシアムで 2000 年の歴史を感じて来ました。シカゴでのビジネス研修では、シカゴにある日本企業を訪問し、海外進出企業の在り方を垣間見ました。また経済的に恵まれない地域の小学校を訪れ、子どもたちに日本文化を紹介しました。（写真：シカゴにて）

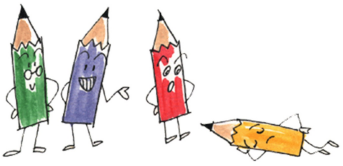
また、国際教養学部の GSE の二年生は 8 月末からアメリカの Georgia 州 Macon にある Wesleyan College に半年留学しています。この学校は、芝間タヅ先生が日本からの最初の留学生であり、秦先生も留学されたメソディストの女子大学で、蒋介石の妻であった宋美麗女史をはじめとする彼女の三姉妹（Son sisters）も留学した 170 年もの歴史を持つ伝統のある大学です。

学生たちは、自分たちの大学生活や新しい経験を日本の友達や高校生に紹介したいとブログを立ち上げてくれました、８人が交代で記事を書いてくれています。 是非、広島女学院大学のホームページの「留学生ブログ」をクリックして彼女たちの成長ぶりを見てください。南部にあるこの大学では乗馬が授業としてあり、４人はそのクラスを取っています。学生の 30%が留学生であり、全寮制ですので、いろんな国の友達ができているようです。（写真：留学生ブログより）

今年からは、国際教養学部だけでなく、人間生活学部の方も海外へのフィールドワークに出かける計画です。管理栄養学科は 2014 年 2 月に、また幼児教育心理学科は来年度にそれぞれの専門性を海外と比較しながら自分の立ち位置を確立していきます。

広島女学院大学は、設立以来ずっとグローバルな学校でした。国際的な空気のあるキャンパスであり続けたいと思います。

ーシリーズー　“私からあなたへ　同窓生の輪”　㉜



オペラデビューより38年経た今、思うこと

岡崎 智恵子（高22）

昨年12月に催しました私のリサイタル(銀座王子ホールに於いて）から、早いもので、１年が経とうとしております。その節は、広島女学院同窓会東京支部の後援を頂き、多くの同窓生がお越し下さいました事､本当に心より感謝申し上げます。

リサイタル翌日より、イタリアから来日し伴奏して下さいましたマエストロの地方講習会に通訳兼ガイドとして同行、広島にもご案内し、出発を見送った直後、広島で一人暮らしをしている母親が転倒し骨折、救急車で運ばれました。幸いにも初夏には無事退院致しましたが、同窓の皆様に御礼状をと思う矢先の出来事で、お礼を申し上げる機会を逃しましたこと、お許し下さいませ。

リサイタルは、お陰様で日本のトップ音楽評論家から大変高い評価を頂いた批評が音楽雑誌‘音楽の友’に掲載されました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

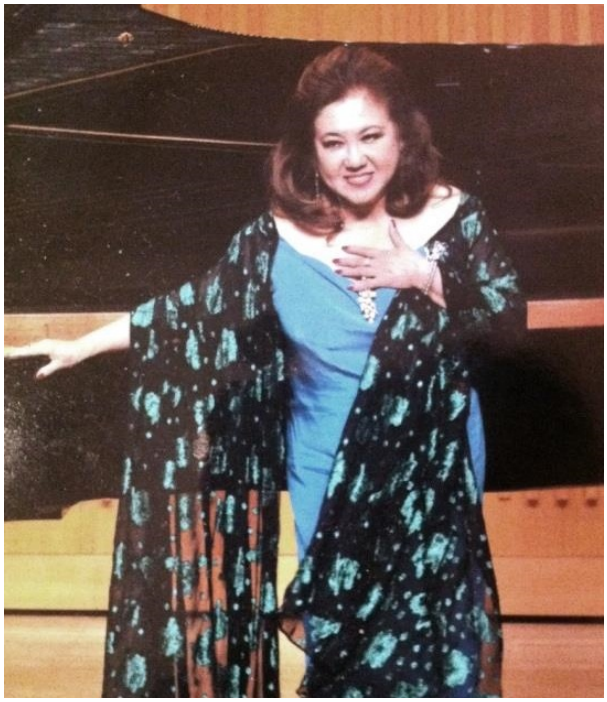
私は､広島女学院から東京芸術大学声楽科入学、卒業と同時に、恩師の薦めで二期会研究生になりました。

当時、入所直後の研究生は合唱団と一緒に“二期会オペラ”本公演の合唱を歌う事が授業でした。研究生の中から何人かが選ばれて、私も「花娘」の役を頂き､今は亡き若杉 弘氏指揮によるオテロの全公演に出演。１回目公演も成功し､２回目は、楽屋で出番ではないからと、他の出演者とのんびりおしゃべりしている間に自分の出番が始まってしまい、間に合わず出演いたしませんでした。
３回目のオペラも成功しましたが、高名なあの若杉先生に緊張しながら謝りに行ったというのが、38 年前の私のオペラデビューです。 その苦い経験から、その後二度と出演時間を間違えた事はありません。

同じ年、ウィーン国立音楽大学教授のヴェルバ先生が来日。そのご縁で翌年にはウィーンへ留学できる事となりました。ウィーン国立音楽大学で歌曲、オペラを学びましたが、当時はまだ日本は「極東の国」という認識で、オペラ科の先生から「極東から来た炎」と呼ばれました。遠く地球の果ての国からやってきた激しく熱い日本人という意味だったと思います。

物おじせず、意見をはっきり言えるようになったのは、広島女学院中学、高校の自由闊達な教育方針の中で自然に身につけたのではないかと思います。また、中学から行われていたネイティブ教師による英会話教育も、その後の歌手としての大切な語感の発達を助けるものとなりました。

幼い頃は内向的で大変おとなしい性格だったのを、両親が心配して、音楽一家の大叔父のもとでヴァイオリンを５歳から習わせてくれました。
その後、歌やピアノも習い、放送局の児童合唱団にも所属していましたので、テレビやラジオにも出演をしたりしていました。女学院中学入学後、合唱部に在籍、中学２年から本格的に声楽のレッスンに通い始めましたので、今思えば、幼い頃より絶えず音楽がそばにありました。



ウィーン留学を終え帰国、音大講師として籍をおいておりました。しかし、オペラに欠かせないのがイタリア語。そのイタリア語を、当時話せたドイツ語の様に話したいという思いに掻き立てられ、１年間の予定で気楽にイタリアに出かけのですが、そのイタリアで、有名な国際コンクール２位入賞となり、副賞にローマでのオペラコンサート出演という栄誉を頂いた事がきっかけで、その後、とうとう約 20 年間という長期イタリア滞在になってしまいました。イタリアでは、イタリア人と同じオペラ歌手としての身分証明書も取得しましたので、イタリア・ミラノを拠点にイタリア各地、スイス、ドイツ、スペイン、フランス、オランダ、旧ユーゴスラビア等、ヨーロッパ各地で歌手活動を続けてきました。「椿姫」「ボエーム」「蝶々夫人」が主な役ですが、日本人の私は、「蝶々さん」役は特にはまり役で、私にしかできない“蝶々さん”にするべく、深く研究し続け、また歌い続けてきました。

2000 年には、長いヨーロッパでの演奏生活にピリオドを打ち、拠点を日本に移しました。二期会研修所講師を経て、2002 年より現在まで、演奏活動に加え、大学院大学でプロの声楽家を目ざす後進の指導にあたっております。こうして執筆中にも、2002 年に入学して指導してきた生徒が、「日本音楽コンクール」本選にまで残ったという連絡が入りました。私のヨーロッパでの経験を少しでも若い人たちに伝え、育てさせて頂く事は大きな喜びです。

振り返ってみますと、これまで私自身もどれだけの多くの方々に支えられ、助けられてきた事かと、本当に感謝の思いで一杯になります。女学院での６年間のキリスト教に基づく教育は、人間として大切な人格形成の土台を作って頂いたと感謝しております。

我が家は、私以外も妹、義妹も女学院出身で、それぞれに各分野で活躍しております。これからも、望まれればどこでも出かけて、声の出る限り、歌を通して多くの方の心に喜びと平安を届けられる芸術家として、努力、研究を生涯続けていきたいと思っております。

2013 夏雲の集い 報告

7 月 6 日（土）に銀座教会大礼拝堂にて関東ブロック主催の原爆死没者追悼礼拝「夏雲の集い」を持ちました。
小・中学生時代に広島に 3 年間いらしたことのある伊藤大輔牧師から「断絶を超えて」と題した説教を頂き、「信仰により乗り越えられないものは無い」と教えて頂きました。
その後、広島出身の女性シンガーソングライター Metis 作詞・作曲の「アオギリの木の下で」と、高田三郎作曲の「平和の祈り」を参加者全員で歌ってヒロシマへの思いを新たにしました。
「アオギリの木の下で」は、「祈り込めて今日も流れる太田川、夏の日に高く羽ばたく千羽の鶴･･･」と歌う、心に残る歌です。You Tube でお聴きいただけます。
広島からお越し頂いた大矢みどり会長から、長尾ひろみ学長の最初の 4 年の任期が来年 3 月で満了するに当たり学長選考委員会が開かれているというお話を伺い、同窓生として長尾学長の続投を願う署名をと呼び掛けたところ、大勢のご賛同を得ました。
しばし歓談の時を持った後、校歌を歌ってお開きとしました。参加者は高女 52 回から高校 46 回までの 55 名でした。　　坂下 惠（杉田／文英 1）

・ ■ ・ ■ ・ ■ ・

ソーシャルメイクアップ講座 報告

6 月 15 日（土）、銀座教会にて、前号でお知らせした廣本萬里子さん（高校 19 回/ビジュアルアップステージ MARIKO 代表）による「ソーシャルメイクアップ講座」を開きました。参加者は高校 14 回生から高校 62 回生までの 32 名。
モデルさんの顔の右半分だけにメイクを施しながら、「化粧水はコットンに含ませてつけ、掌で押さえて浸透させて・・・」、「ファンデーションは頬のあたりには厚めにのせて、残りの部分にはごく薄く。そうすることで立体感が出て、化粧崩れも防げる」、「たるみや皺ができた部分はファンデーションで陰を隠して・・・」と進むうちに、メイクを施した側だけがリフトアップされて若々しく見えることに、一同、驚きの声。
クレンジングやファンデーションはどんなものが良いとか、常識と思っていたことの誤りなど、たくさんの情報を得て、皆さん、「参加してよかった」と笑顔で帰途につかれました。今も毎日のメイクに生かされていることと思います。　　（坂下）

アイリス句会 33

「豆名月」

白井京子（現・瀧口）高23、文英5

■うわぁ、大好きな夏が終わってしまうぅ！と騒いでいると、何よ、若者ぶっちゃって！と、友人に突っ込まれる。若い頃から夏が大好きだった。海に行ったり、野外の夏フェスに行ったり、恋の芽生え（？）などあったりして・・・。しかし、今はそれとはちょっと違う、というか、大幅に違う。夏が終わるのが寂しいのは、大好きな食べ物が終わって、もう来夏まで食べられなくなるからだ。それは何かというと、「枝豆」と「梨」。まあ、梨は九月になっても、いろんな種類がどんどん続いて、十月下旬くらいまで食べられる。しかし、枝豆は九月の声を聞くと、売り場が狭くなる、寂しい・・・。

私が広島県代表で、総理府青年の船団員として、二ヶ月間にっぽん丸に乗っている間（毎日、フルコースのようなおいしい食事で、二ヶ月で四キロ太ったが）何が恋しかったかというと、焼き鳥と枝豆だった。サンフランシスコ、ロスアンゼルス、メキシコ、ハワイを経て晴海に着いたら（八月上旬）、ああ、まず焼き鳥と枝豆を食べようと夢にまで見たのだった。東京で仕事を始めてからも、夏に里帰りすると、母が山のように茹でてくれていた。意識した事は無かったけど、私は異常に枝豆が好きだったんだと気付き、今年は追及することにした。多分、酔心料理教室で習ったと思うが、お客様に出す時は、ちゃんと枝からはさみを使って綺麗に切るようにと教えられた。私は今年、枝豆の片方だけでなく、両端をはさみで切る事にした。なんという美しいフォルム、中身はやはり三粒がよい。色、香り、形、全てが好きなことに気付いた。そう、私は枝豆の色（抹茶色？薄黄緑？雨蛙色？鶸萌黄（ひわもえぎ）？）が好き。小銭入れ、手帳、ペンケース、カーデイガン、ストール、気付けば回りにたくさんの枝豆色がある。幸か、不幸か家族がそれほど好きではないということもあり、私が独占して一回に一束食べる事もある。

好物の枝豆母は井で　林ミモザ

沸騰したお湯に塩を少し（お湯にはあまり塩を入れない）、そこに両端を切った枝豆を投入し五分タイマーをかける。改めて作り方を見ると、七分、六分といろいろのようだが、試したところ五分がおいしい。綺麗な緑色になる。茹ですぎはだめ。食べる時は中の甘皮も取り除いて食べる。

しかし、ここまで読んできて、俳句をする人なら気付くはず。実は枝豆も梨も秋の季語。陰暦八月十五日の月を中秋の名月という。そして陰暦九月の十三夜にも月見をする。これを八月の名月に対して後の月という。陽暦では十月の下旬になることが多く、月の美しい秋の見納めの月である。中秋の名月には芋を供えることが多いが、後の月には栗や枝豆を供えるので、豆名月とか栗名月という。

水の音くらきにきこえ十三夜　久保田万太郎

寝惜（いねお）しむともなく起きて十三夜　鷹羽狩行

来年は銘柄、産地に注目しよう。

木戸開けて豆名月の客来る　白井薔薇

■八月下旬、モンゴルに旅行した。抜けるほどの蒼穹（青空のこと）、果てしなく続く緑の草原、数え切れないほどの羊、ヤギ、馬、牛、ヤクの放牧。ゲルに泊まり、寝るときは薪ストーブを焚き、外では満天の星、そして天の川、流れ星。昼には何度も乗馬を楽しみ、人が住んでいるゲルを訪れると、モンゴル版ミルクティー（スーテイ・ツァイ）や馬乳酒をいただいた。モンゴルのかつての首都、カラコルムでは、世界遺産の仏教大寺院「エルデニゾー」を見学。モンゴル航空直行便は、行き五時間、帰り四時間と、快適で楽しい旅だった。

流星や闇より馬のいななきが　白井薔薇

秋あかね競馬のごとき車列かな　〃

モンゴルを発つや眼下の秋確か　〃

■最愛のカープが今年は調子がよく三位に入り、初めてのCSを経験することになった。九月末、東京カープファンの盛り上がりを見に、神宮球場に応援に行ってきた。試合は0対0が七回まで続き、八回で二対二となり、そのまま延長戦、そして引き分けで終わった。しかし、両チームとも、外野の応援席がなかなか帰ろうとしない。その内、こちらのカープファンがヤクルトの応援歌「東京音頭」を歌ったところ、ヤクルト側からカープの応援歌が聞こえてきた。その後、こちらも、来年はヤクルト頑張れ！共にクライマックスに行こう！などと応援席全部で盛り上がり、続いてヤクルト側から、打倒巨人！クライマックス頑張れ！という声が聞こえてきた。そしてそれぞれ退団を発表したヤクルトの宮本選手、カープの前田選手への惜別のコールをして、延々、三十分くらい続いた。閉場の十時まで応援合戦は続き、何度も胸が熱くなった。

試合後の応援合戦秋暑し　白井薔薇

月白や野球応援手ぐすねで　〃

また半年後にお会いしましょう。皆様からの投句をお待ちしています。

俳号　白井薔薇（しらいそうび）…　俳句結社「童子」同人、日本伝統俳句協会会員
BSジャパン「サブちゃんと歌仲間」に出演中

クリスマス会のお知らせ

12月14日(土) 午後1時半～4時

日本ホーリネス教団 池の上キリスト教会

〒181-0011 東京都三鷹市井口 3-15-6 TEL:0422-33-0018

*JR 中央線 **武蔵境駅**下車

（快速は止まりますが、中央特快、青梅特快は止まりません。）

武蔵境駅南口バス停3番 小田急バス 狛江駅北口行き(境 91)

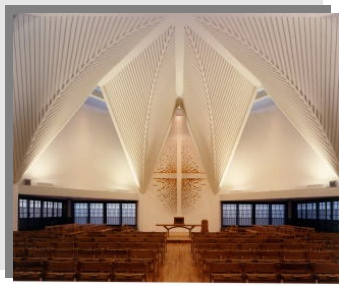
13:00 発か 13:15 発で武蔵境営業所前下車（乗車 3 分）

*駐車場も利用可

礼拝 ： 千代崎備道牧師、 懇親会

お問い合わせ ： TEL/FAX 03-5386-0740 坂下

讃美歌を歌いましょう♪
他支部の方も歓迎です！



千葉支部 クリスマス会

12月2日(月) 10時半～2時半

新津田沼教会

礼拝と会食(会費 1,000 円)

申込み:TEL/FAX 043-266-3342 村中

神奈川支部 クリスマス会

12月6日(金) 11時半～2時半

パセラリゾーツ 横浜西口ハマボールイアス店4階

お食事とギター演奏 磯野鉄雄氏(会費 5,000 円)

申込み:TEL/FAX 0467-73-1370 中村 (〆切 11/17)

訃報 役員として以前に奉仕して下さった熊谷幸枝さん (藤田・専保 2) が本年 9 月に逝去されました。

《編集後記》

＊ 敬老の日 (9/16) に因んで、80 歳以上の方 73 名にお祝いのカードをお送りしました。

＊ 今年のクリスマス会は宗教委員の千代崎さんご夫妻が牧師として奉仕をなさっている池の上キリスト教会です。パイプオルガンもある素敵な教会で、ご一緒に讃美歌を歌いましょう！

＊ 今年度の東京支部会費未納の方に振替用紙を同封しています。ご協力よろしくお願いいたします。